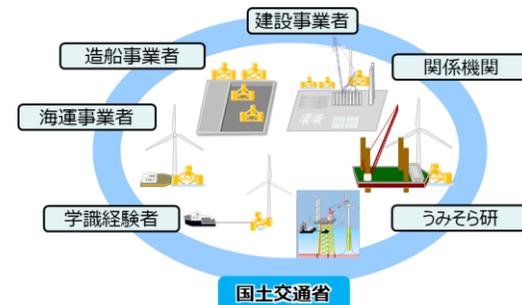


- 浮体式洋上風力発電の大量導入に向けた海上施工や関連船舶に関する諸課題について、官民が連携し、横断的な議論を促進するため、令和6年5月に「浮体式洋上風力発電の海上施工等に関する官民フォーラム」を設置。
- 令和6年8月に第3回を開催し、「浮体式洋上風力発電の海上施工等に関する取組方針」を提示。

## 背景

- 浮体式洋上風力発電設備の大量導入を進めるためには、浮体の組立・設置など多岐にわたる海上施工や関連船舶に関する諸課題について、様々な主体が連携の上、制度設計や技術検討を計画的に進めることが必要。



## 浮体式洋上風力発電の海上施工等に関する官民フォーラム

- 浮体式洋上風力発電の大量導入に向けた海上施工や関連船舶に関する諸課題について、官民が連携し、横断的な議論を促進するため、「浮体式洋上風力発電の海上施工等に関する官民フォーラム」を設置・開催。

### 構成員

国土交通省（総政局、海事局、港湾局、国総研）、うみそら研、関係機関（海事、港湾）、マリコン、ゼネコン、造船、海運、学識経験者等

### 開催経緯

R6.5.21 第1回  
R6.6.25 第2回  
R6.8.29 第3回（「取組方針」の提示）

### 浮体式洋上風力発電の海上施工等に関する取組方針

#### ① 施工シナリオの検討

- 浮体基礎の種類別など複数ケースの海上施工シナリオについて検討 ※シナリオ策定後、②～④の検討に反映

#### ② 港湾インフラ・関係船舶確保等のあり方に関する検討

- 浮体式の大量導入を可能とする港湾の機能や、船舶の需要見通しと確保に向けた取組みの検討

#### ③ 設計・施工・維持管理に係るガイドライン等の整理

- EEZへの展開も踏まえたガイドライン等について整理

#### ④ 各種調査・研究の推進

- 【国】技術的・制度的な調査・研究、【民間】協調領域の連携枠組みの構築

## 「取組方針」を踏まえた対応

- 「取組方針」に基づき、今後①～④の取組を深化
- 特に、①施工シナリオ、④各種調査・研究に関する具体的な議論を実施するため、「官民WG」を設置（第1回：R6.12.17、第2回：R7.3.7）

## 令和6年5～8月 第1～3回官民フォーラム

- ・浮体式洋上風力発電の海上施工等に関する取組方針の提示  
(取組方針のうち、①施工シナリオ、④各種調査・研究についてはWGで議論することを位置づけ)



## 令和6年12月17日(火) 第1回官民WG

- ・官民WG参加者へのアンケート結果を踏まえた論点整理及び議論  
(浮体式洋上風力発電の海上施工シナリオ、海上施工に関する調査・研究の方針)



※第1回の議論を踏まえ、事務局においてヒアリングやアンケート等を実施

## 令和7年3月7日(金) 第2回官民WG

- ・浮体式洋上風力発電の海上施工シナリオの整理
- ・浮体式洋上風力発電の海上施工に関する調査・研究方針の整理 等

# 浮体式洋上風力発電の海上施工シナリオ

○海上施工においてボトルネックとなり得る点の具体化等を図るため、「浮体式洋上風力発電の海上施工シナリオ」を整理。  
 ○今後、港湾インフラのあり方検討、ガイドライン等の整理、官民での各種調査・研究等に活用することを想定。

## 前提条件

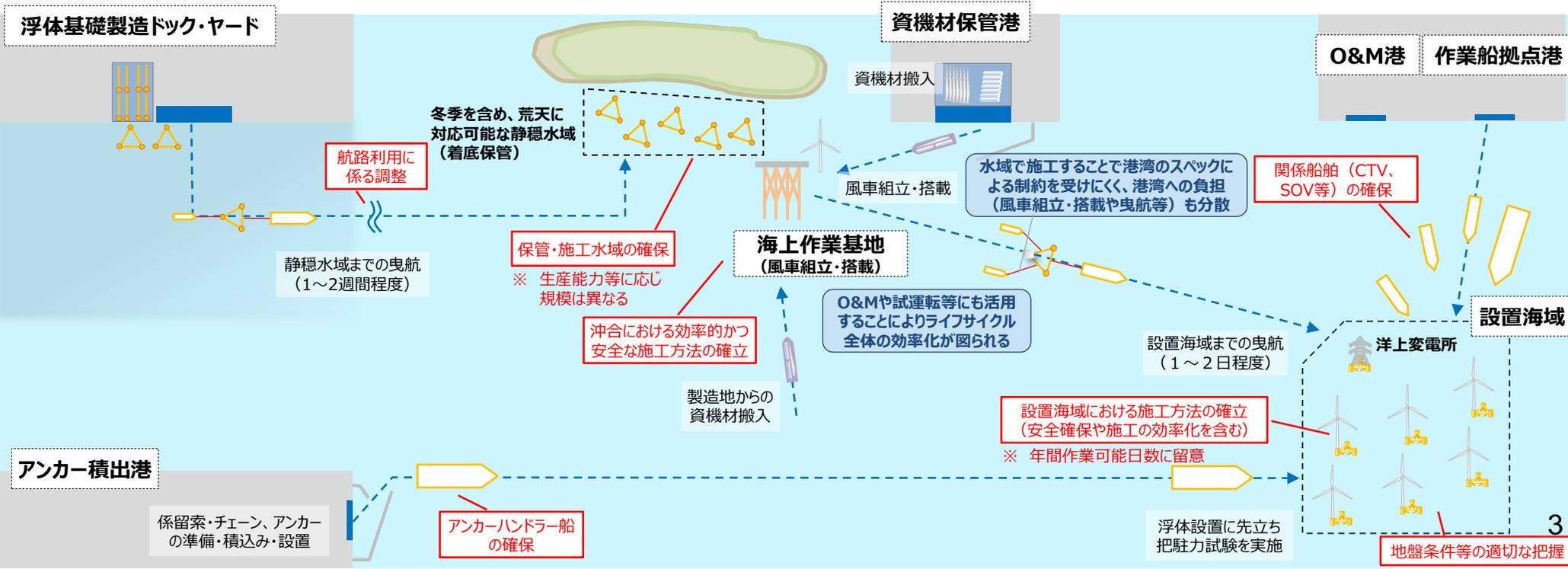
設置水深	設置場所	設置基数	風車サイズ	浮体基礎のタイプ	浮体基礎の部材
200m	沖合20km程度	60基	15MW機	セミサブ型/スパー型	鋼製/コンクリート製
アンカーの形式	係留方法	係留索の素材	係留本数	施工期間	アセンブリ場所・方法
ストックレス (ドラッグアンカー)	カテナリー係留	チェーン/ハイブリッド	6本	2年	岸壁/作業船 /海上作業基地

## 海上施工シナリオ【海上作業基地活用（セミサブ型）】

### 浮体製造

### 浮体保管・アセンブリ

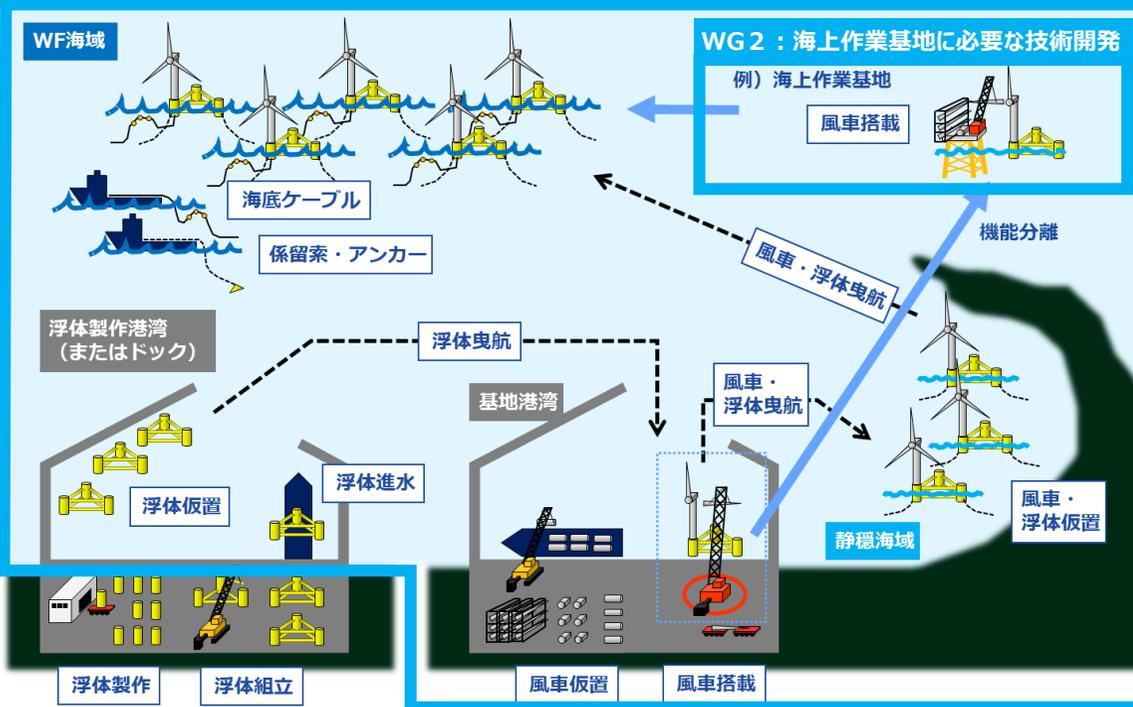
### 設置海域



# 浮体式洋上風力建設システム技術研究組合の概要

<b>名称</b>	浮体式洋上風力建設システム技術研究組合【略称： <b>FLOWCON</b> 】 ( <b>F</b> loating <b>O</b> ffshore <b>W</b> ind <b>C</b> onstruction System Technology Research Association)
<b>設立認可日</b>	令和7年1月20日
<b>研究目的</b>	浮体式洋上風力発電の大量導入に向けた合理的な建設システムの確立を図るため、 ①大量急速施工の実現、②合理的な建設コストの実現を目的とする
<b>研究内容</b>	(1) 合理的な建設システムに関する研究 (風車搭載作業の生産性向上)【 <b>WG1</b> 】 (2) 海上作業基地に必要な技術開発【 <b>WG2</b> 】 (3) 海上施工に関わる気象海象予測システムの開発【 <b>WG3</b> 】

WG1：浮体式洋上風力発電の合理的な建設システムに関する研究  
WG3：海上施工に関わる気象海象予測システムの開発



WG2：海上作業基地に必要な技術開発

例) 海上作業基地

風車搭載

